



大分大学総務部総務課広報係
870-1192 大分市大字旦野原 700
TEL:097-554-7376 FAX:097-554-7413
MAIL:koho@oita-u.ac.jp
URL:http://www.oita-u.ac.jp

PRESS RELEASE (2023/1/23)

県政記者クラブ各社 殿

国立大学法人大分大学

大分大学福祉健康科学部の学生による「おおいた子ども食堂ネットワーク」 の取材企画について（お知らせ）

大分大学では、おおいた子ども食堂に、福祉健康科学部学生・教員が出向き、継続的に取材を行っています。令和4年11月より取材を開始し、大分市のこども食堂にて計2回の取材を実施し、取材内容について、大分子ども食堂ネットワークのホームページへ掲載しています。

1月は玖珠町の子ども食堂を、福祉健康科学部社会福祉実践コースの学生4名が取材予定としていますので、お知らせします。

本件については、12月22日の学長定例会見にてご案内していますが、当該取組について広く県民の皆様へ知っていただきたく、改めて日程についてお知らせする次第です。以下のとおり取材対応予定ですので、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

- ・ 日 時： 令和5年1月28日(土) 10時～13時
- ・ 場 所： 「北山田ふれあい食堂みかづき」北山田自治会館ホール
玖珠郡玖珠町大字戸畑 6520 番地の7
- ・ 大分こども食堂ネットワークのホームページ
<https://lets-go-kodomoisyokudo.oitakensyakyo.jp/manual/>

※取材にお越しになる際のお願い

- ・ 取材にお越しになる場合は、事前に下記までご連絡をお願いします。
- ・ 少しでも体調がすぐれない方は、取材・撮影をご遠慮ください。

(本件問合せ先・連絡先)
大分大学福祉健康科学部社会福祉実践コース 教授
担当：上白木 悦子（かみしらき えつこ）
TEL：097-554-7540 E-mail：kamishiraki@oita-u.ac.jp

【令和4年12月学長定例会見配付資料※】

※今回は以下2の「大分大学福祉健康科学部の学生による『おおいた子ども食堂ネットワーク』の取材企画」についてのご案内です。

～実施予定の事業について～

大分県「地域共生社会の実現に向けた実務者ネットワーク会議構築事業」の具体的な取組として、令和5年1月・2月に実施予定の事業は以下のとおりです。いずれも取材対応予定ですので、ご高配を賜りますようお願いいたします。

1. 地域点検ワークショップの開催

事業区分	事業④ 包括的支援体制整備活動として地域点検ワークショップを開催
実施方法	教員・学生・県職員・実務者が豊後大野市に伺い、市職員と共に、地域の現状と課題を洗い出すワークショップを行います。 ワークショップでは、大学独自で考案した「地域生活課題カード」と「社会資源カード」を用いて、3つのステップで課題解決の議論と解決に向けたアイデア出しを行います。
実施日	令和5年1月19日（木）10時～12時
実施場所	豊後大野市役所2階（中央公民館）視聴覚室 豊後大野市三重町市場1200番地

2. 大分大学福祉健康科学部の学生による「おおいた子ども食堂ネットワーク」の取材企画

事業区分	事業③ 多世代交流・支え合い活動構築
実施方法	おおいた子ども食堂（大分市）に、福祉健康科学部学生・教員が出向き、継続的に取材を行っています。令和4年11月より取材を開始し、計2回の取材を実施済みです。1月は以下の子ども食堂を、福祉健康科学部社会福祉実践コースの学生4名が取材予定です。 また、取材内容について、大分子ども食堂ネットワークのホームページ等への掲載しています。
実施日	令和5年1月28日（土）10時～13時
実施場所	「北山田ふれあい食堂みかづき」北山田自治会館ホール 玖珠郡玖珠町大字戸畑6520番地の7

3. 第3回実務者ネットワーク会議の開催

事業区分	事業① 全体会議を毎年3～4回にて開催
実施方法	実務者、県内市町村、県、大学にて、本年度最後の全体会議を行います。会議では、本年度の事業の振り返りと次年度に向けた計画を検討する予定です。
実施日	令和5年2月9日（木）13時30分～17時
実施場所	大分市内にて調整中（後日、プレスリリースにてお知らせします）

◆実施時期が近づきましたら、1～3について個別にプレスリリース予定です。

■情報の名称

大分県「地域共生社会の実現に向けた実務者ネットワーク会議構築事業」
(大分県受託事業)
～官学連携により地域共生社会の実現に向けた取り組みを全国に先駆けて展開～

■目的・内容

現在、福祉的課題が多様化・複雑化するなかで、重層的支援体制整備事業が2021年に創設されました。

この重層的支援体制整備事業とは、市町村全体の支援機関・地域の関係者が困りごとや相談を断らず受け止め、つながり続ける支援体制を構築することをコンセプトに、「属性を問わない相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」の3つの支援を一体的に実施することです。

この事業を受けて、大分大学では2021年度から大分県と連携し、大分県「地域共生社会の実現に向けた実務者ネットワーク会議構築事業」を実施しています。

この事業は21名の産学官の構成員とともに、本学福祉健康科学部の学生も参加しており、課題に向き合い、地域の方々と交流することで、学生の成長にもつながる取組となっています。

令和4年度には、全国で134の自治体が「重層的支援体制整備事業」を実施予定ですが、本学と大分県による「官学連携×学生」による取組は全国的にも珍しく、全国に先駆けた取組です。

具体的な事業は以下のとおりです。

事業① 全体会議を毎年3～4回にて開催

実務者ネットワーク構築事業に関する協議をするために、実務者及び自治体とともに定期的な会議を開催

事業② 県内18市町村に向け取り組みの広報活動

県内18市町村を訪問し、本事業の広報啓発や活動実態を把握（全18市町村実施済み）

事業③ 多世代交流・支え合い活動構築

多世代交流や支え合い活動等の立上げや充実に取り組む団体からの個別具体的な相談に対する支援・助言

事業④ 包括的支援体制整備活動として地域点検ワークショップを開催

重層的支援体制整備事業を始めようとしている県内の市町村への支援（国東市、日出町で実施済み）

(参考)

厚生労働省「地域共生社会のポータルサイト」

<https://www.mhlw.go.jp/kyouseisyakaportal/>

厚生労働省「地域共生社会の推進」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/seikatsuhogo/chiikikyosei/index.html

■特色・特徴等

産学官の21名からなる構成員により上記①～④の事業を展開
(構成員内訳)

- ・実務者9名 (NPO 法人アンジュ・ママン、社会福祉法人太陽の家、(一社) 自立生活サポートセンターこんぱす、九重町社会福祉協議会※、入蔵健康サロン、社会医療法人関東会法人本部地域福祉推進室、NPO 法人おおいた子ども支援ネット、佐伯市社会福祉協議会※、中津市社会福祉協議会※) ※各領域の実践者として参加
- ・大分県社会福祉協議会1名
- ・市町村社会福祉協議会1名 (杵築市社会福祉協議会)
- ・市町村2名 (臼杵市、津久見市)
- ・大分県5名 (高齢者福祉課地域包括ケア推進班、こども未来課子育て支援班、こども・家庭支援課家庭支援班、障害者社会参加推進室地域生活支援・芸術文化スポーツ推進班、福祉保健企画課地域福祉班)
- ・大学3名 (大分大学福祉健康科学部教員)

■実施方法

■実施時期等

■実施場所等

} 別紙「実施予定の事業について」参照

■問合せ先・電話

大分大学福祉健康科学部社会福祉実践コース

担当：上白木 悦子 (かみしらき えつこ) 役職名：教授

TEL：097-554-7540 E-mail：kamishiraki@oita-u.ac.jp
